仇討選手（1931）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1931/12/18

【解説】
小林正の原作・脚本を映画化した、内田吐夢監督の初時代劇作品。権力に弄ばれる市井の人物を描いた「傾向映画」の一種だが、大半が喜劇仕立てとなっている。ネガもプリントも失われていたが、1分弱のクライマックスの断片のみ発見された。
「忠臣蔵」を大好きな殿様が、植木職人を斬った足軽に仇討ちをさせようと、職人の息子を侍として取り立てる。父を斬られた由公は剣術修行に励み、何とか仇討ちに成功。意気揚々と帰国するが、許嫁が家老の妾にされていたことを知り、家老を斬ってしまう。今度は仇討ちされる側になった由公だったが、相手を返り討ちにするのだった。

【クレジット】

監督	内田吐夢	
原作	小林正	
脚色	小林正	
撮影	松沢又男	
助監督	荒井良平	
	末岡武郎	
出演	大河内伝次郎	由公
	三桝豊	その父
	山田五十鈴	お静
	小松みどり	その母
	佐久間妙子	おつた
	村田宏寿	足軽
	斎藤紫香	陣太
	清水俊作	殿様
	高木永二	家老職
	川越一平	床屋のおやじ
	田村邦男	講釈師

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.